

すくわくプログラム活動報告書

みらいく南大泉園

テーマ 「世界（異文化を知ることによって歌かな世界観を持ち、世界に興味関心を持ち子どもたちの未来につなげていく）」

1. テーマ設定の理由

国旗に興味関心を持ち世界の国の名前を知りたい、どんな国があるのか、どんな人が住んでいるのか、食べ物、服、言葉、文字など世界について疑問を知りたいことをテーマとした。

2. 活動スケジュール

10月「身の周りの音を感じる。」 園庭や公園で落ち葉や枝や石で音探しをしたり、飛行機や車などの音を感じる。
11月「身の回りの音を再現共有する」 見つけた音を紹介したり、言葉や音で表現する。
12月「新しい楽器に触れる」 楽器の名前を知ったり音を鳴らしてみる。
1月「手作り楽器づくり」 廃材などを使用して、個々に作りたい楽器を作り音を表現してみる。
2月「手作り楽器発表会」 子どもが作ったオリジナル楽器で歌に合わせて演奏して表現、共有する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

(道具や素材)

- ・世界タッチプログラム【世界トーク（英語に触れる）、世界の子どもと ZOOM でつながる、世界アート（オリジナル国旗づくり）、世界レッスン（世界の衣装）、世界ボックス（世界の楽器、玩具、絵本、民族衣装）乾燥ドリアン
 - ・テレビ（50型）、画用紙、折り紙、ペン、クレヨン、のり
 - （活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり）
- 別紙参照

・世界タッチプログラムが開始前に保育者が日本や世界の国について図鑑や地球儀を使って話をした。障がい児認定児が国旗を模倣して書いていることを4，5歳児はよく知っていて、保育者とともに世界について会話が生まれていた。「楽しい」という感想から、国旗の意味などを知ったり考えたりする姿があり、保育者も関わり民族衣装や飾りを作成したりして室内が世界の様々なものが飾られたり、楽器演奏したりしていた。子どもたちから、世界の言葉で挨拶をしたり、ドリアンに興味を持ち購入し、知らない果物を知った。

4、振り返り

別紙参照

・世界がどのようなものかに興味を持ち、楽しい、不思議、知らないことがたくさんあることを知り、子どもたちの興味が広がっていった。インクルーシブルが進む子どもたちの未来によい機会になった。次年度も継続していきたいと感じた。



みらいく南大泉園 大きくなったね会 2026年02月21日